

### 第3回「空港運営に関する有識者懇談会」議事概要

日時：平成23年12月26日（月）9：30～12：00

場所：道議会庁舎1階 第1委員会室

内容：関係自治体（千歳市、苫小牧市、釧路市、札幌市）からのヒアリング等

#### 関係自治体からの発言概要

##### 千歳市

- 新千歳空港は、産業振興、観光振興などに欠かせない重要な地域活性化の拠点であり、今後も国際拠点空港としての競争力を高める必要がある。
- 空港基本施設などの大規模投資については、これまで通り国が実施すべき。
- バンドリングについては、各空港の収支のみの議論によるものではなく、それによって相乗効果が生み出されるものでなければならない。
- 航空ネットワーク上、必要不可欠な空港についてはこれまで通り設置者が税を持って運営していくべきであり、民営化できないとしても「赤字であるから廃止する。」ということはあるとはならない。
- 空港周辺対策が今後とも維持・確保されることが空港の安定的な運用に必要。
- 新千歳空港で従事する約6千人の雇用に配慮する必要があるとあり、空港の将来に向けた積極的な経営を進め、地域経済の活性化、雇用の拡大等に取り組んでいる北海道空港（株）は、新千歳空港の経営者に相応しい。
- 一部の空港の黒字をもって他空港の赤字を補填することにより、北海道経済の活力を削ぐことがあってはならない。
- 新千歳空港の危機管理は、国土交通省と防衛省の連携が安全保障上有効。

##### 苫小牧市

- 新千歳空港は、道民生活及び道内産業・経済等に対する役割は大きく、苫小牧市はもとより北海道において必要不可欠なものと認識。
- 経営一体化の推進については、より魅力的な空港になるため、非航空系事業収入の拡大は不可欠であり、経営一体化によって航空系事業にもプラスの効果が期待。
- 諸外国の事例などを見る限り、「民間の知恵と資金」の導入を拒むものではない。
- バンドリングについては、これまでの国のプール制と同じにしてしまうようなものであり、それにより新千歳空港自体の体力の低下が懸念される。
- 騒音問題を抱える地域へのさらなる地域振興策や雇用の場の確保など地域に対し十分な配慮が必要。
- 民営化により、空港周辺地域における住宅防音対策等のレベル低下がないようしっかりと対応を求めたい。

##### 釧路市

- 釧路空港は、道内外と地域を結ぶ欠くことのできない交通インフラであり、観光・ビジネスだけではなく、医療など多岐に渡り地域を支える公共的な交通機関。
- 民営化という手法が絶対という訳ではないが、今のままで良いのかという思いがあり、民営化も一つの手法ではないかと考えている。
- 空港ビル、駐車場、滑走路が別々の管理者により運営されているため、方向性がなかなか一致しないが、一体化すれば魅力の増進が図れるのではないかと。
- 全てを民間に渡すことについて、災害時等の不測の事態への対応を含め、適切な空港運営を担保する上で、所有権を国に残すという方向に賛成。
- 複数空港のバンドリングによる運営は大きな可能性のある選択肢の一つ。

## 札幌市

- 丘珠空港は、札幌圏に集積するビジネスや医療などの諸機能を道内各都市が効率的に享受する上で欠かせない役割を担っている。
- 民間の知恵と資金の導入等については、具体的な制度設計がない段階で一概に民営化の是非については議論できないのではないか。
- 空港運営のあり方の見直しの検討に当たっては、個別空港ごとの検討と同時に、道内航空ネットワーク全体をどのように維持すべきかという観点からの検討が必要。
- 民営化の流れの中で、これまで国が負担していた空港運営コストの一部を地方が負担するような状況になることが無いよう、国に申し入れるべき。
- 各空港所在自治体が一堂に会し、情報共有や意見交換を行う機会が必要。